

## 基本目標

### 2

## 活気にあふれ、賑わいを実感できるしごとづくり

### ～町の強みや課題～

小野町から転出する方の特徴として、男女ともに20代および30代が多く、主に就職、転職などの就労による転出が理由と考えられます。

転出を抑えるためには、まず小野町の既存企業や県立小野高校への支援を充実させ、人材育成により培われた知識、技術を生かして小野町で暮らし、働けるようにするとともに、新規創業者の掘り起こしおよび支援に努め、地域の活性化や所得の向上に取り組む必要があります。

また農業については、新規就農者支援を積極的に行っていますが、若い世代の転出者を減らし転入者を増やしていくため、より一層力を入れていくとともに、課題となっている耕作放棄地の解消、農地の集約などを行い、収入の確保と雇用の場づくりを行っていきます。

あわせて「ミネラル栽培」による安全でおいしい野菜(インゲン、トマト、ピーマンなど)の栽培や、ニンニクを発酵させ、おいしくて食べやすく加工した「黒にんにく」といった生産から販売までを一体的に行う6次化農産物の開発・販売を積極的に展開しています。引き続き、小野町ならではの農業を確立し、新規就農者・後継者・生産者などの支援を行い、収入および雇用の場づくりを目指します。



### 数値目標

### 町民一人当たりの所得の増加

2,327千円 (平成27年度) → 2,574千円 (令和6年度)

#### 1. 地域企業などへの 応援体制の確立

##### ● 施策推進方針

町内にある企業などの継続的発展を支える仕組みを構築するなど全力で応援する体制を整え、創業支援、企業誘致を推進します。

##### ● 具体的な施策・事業内容

- ・ 立地企業の支援拡充事業
- ・ 小野高等学校連携推進事業
- ・ 創業支援事業
- ・ 活力ある商店街支援事業

#### 2. 魅力のある農業へ の変革

##### ● 施策推進方針

魅力のある農業への変革を目指すため、農業者の育成、地域農業の活性化、生きがいつくりの農業支援、農地の基盤整備や担い手への農地集積を図るとともに、農産物の流通・販売の支援を積極的に行います。

##### ● 具体的な施策・事業内容

- ・ 夢のある農業者育成推進事業
- ・ 地域農業話し合い活動の推進事業
- ・ 汗光る楽しい農業推進事業
- ・ 基盤整備事業

#### 3. 特産品の創出・付加 価値創造大作戦

##### ● 施策推進方針

小野町産の農産物の付加価値を向上させるため、農業の6次産業(生産・加工・販売を一括で行う産業形態)化の推進と発酵食品の普及を図ります。

##### ● 具体的な施策・事業内容

- ・ ミネラル野菜推進事業
- ・ 農業6次化と発酵のまちづくり推進事業